西東京市市民協働推進センター

平成 26 年度第 10 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 27 年 2 月 17 日(火)午後 7 時～9 時
■開催場所：イングビル 3 階第 1、2 会議室
■出席委員：池田委員、久保委員、小嶋委員、紺野委員、坂口委員、田中(友)委員、谷委員、富沢委員、豊永委員、藤江委員、＜以上 10 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、齋藤、栗山事務局長、丸木地域福祉課長、石井地域福祉推進係長、塚澤主事

冒頭、委員長より西東京市社会福祉協議会が次期センター運営の受託者候補に決定したとの報告があった。また、次回から、運営委員会は自由着席による会議実施が確認された。

1. 報　告　事　項

1. 業務報告について

事務局より、1 月期の主催事業、その他事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委　員：第三者評価委員会ではどんな意見や感想が出たのか。組織基盤強化フォーラムでのフロアディスカッションについて参加者はどんな印象や感想を持ったのか。

事務局：第三者評価委員会でのまちづくり円卓会議の評価については、農家との繋がりができたことはよかったが、その点をもっとアピールすべきだったのではないかとのご意見があった。組織基盤強化フォーラムのフロアディスカッションについては、行政が組織基盤強化について助成金を出している事例などが紹介され、参加者は有益であったと評価していた。

委　員：参加したスタッフの情報を共有するために、会議などを開くのか。

事務局：全体会議で共有するようにしているが、昼のメンバーと夜のメンバーとの時間帯の重なりが少なく、具体的な内容までを共有することはできていないというのが実情である。

委　員：CEO 会議とはどういう会議で、どういう目的で参加したのか。

事務局：今回の会議のテーマに今後の中間支援組織についての意見交換があり、中間支援組織のあり方を学ぶために参加した。

委　員：会議に参加した結果報告にも言及してほしい。

委員長：CEO 会議も組織基盤強化フォーラムも日本 NPO センターの主催であるが、NPO に関する学びやネットワーキングには有効な場であると思う。以前にも要望したが、運営委員会でも外部の会議で配布された資料のコピー回覧や配布をしてほしい。

委員長：第三者評価委員会で次期の重点事業について課題抽出するというのは、第三者評価委員会のミッションとは違うのではないか。

事務局：今期の３年間で実施してきた事業内容について、課題抽出をするという意味である。

2. 2 月以降の実施事業について

事務局より、2 月以降の実施事業である近隣 6 市中間支援組織情報交換会、ゆめサロン「心の居場所・まちかど保健室」、第三者評価委員会及び地域連携促進事業まちづくり円卓会議、3 月の実施事業である第三者評価委員会、地域連携促進事業まちづくり円卓会議及び新年度事業説明会(案)について説明があった。

委員長：まちづくり円卓会議のテーマについては、運営委員会で議論してテーマ化された経緯があるので、運営委員の方も是非参加してほしい。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：今週末までに意見がなければ、確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1. 西東京市市民協働推進センター運営業務委託応募結果と今後の予定について

事務局より、2 月 13 日に受託者候補決定の通知を受けたことが報告され、協働コミュニティ課との協議テーマ等の今後の予定と選考審査の公開プレゼンの模様について説明があった。

2. 来年度の運営委員会委員について

事務局より、新規選出委員の候補者に関して、委員からの推薦経緯、プロフィールを含めて説明があった。

3. 事業計画説明会開催について

事務局より、新年度事業説明会と市の基本構想・基本計画の出前講座について説明があった。

委　員：単に説明を聞くだけではなく、出席し発言したことが反映されるようなことがあれば、参加してみようかということになるのではないか。

委員長：意見交換の場をグループワークなどにすることで意見が出し易くする取り組みをし、できるだけ参加団体の意見を反映させたいという雰囲気を出した方がよいのではないか。

委員長：案内状の開催趣旨の内容を砕いて、是非団体のご意見を聞きたいという意向が伝わるようにした方がよいと考える。

委員長：平成 27 年度事業計画（案）について次回の運営委員会で協議した上で、委員から意見を反映させた形での事業計画説明会としたい。事業計画は、運営委員会のあり方にも関係してくると考える。特に従来と大きく変わったところがあれば、簡単に説明願いたい。

事務局：「つなげる」「あつまる」「ささえる」の三つの理念毎に関連する事業や対象を絞った形で実施することで作成した。「つなげる」では、今年の重点事業としてまちづくり円卓会議は子どもに関するテーマにしたので、対象を子ども、親、地域を対象とした事業構成にしたいと考えている。「あつまる」については、この 2 年間実施してきた「お父さんお帰りなさいパーティ」を絡めて、1 年間の展開企画にした。「ささえる」は市民活動団体向けの支援事業を展開した。

委員長：事務局には、特に「あつまる」という部分で従来実施したことのない事業についての提案理由を 2-3 行でよいので資料に記述してほしい。

4. 今後の運営委員会のあり方について

事務局より、今後の運営委員会のあり方について説明があった。

委員長：今後、取り入れていきたい事項もある。運営委員の提案からは、より主体的に関わっていく方向性が感じられる。活動計画についても、今までは事務局から企画案が提示され審議するだけであったが、例えば、運営委員会が「つなげる」「あつまる」「ささえる」の三つにグループに分かれてアイディア出しを行い、事務局が出されたアイディアをもとに立案するような流れにするなど、運営委員が単に意見を出すだけではないやり方が望ましいと考える。その辺りを次

回しっかり時間を取り、審議事項として議論したい。行政職員がカジュアルに運営委員会に参加できる仕組みづくりを別途議論する必要があるかもしれない。運営委員を担当制にして担当が企画出しをするということになると、運営委員のコミュニケーションのあり方や関わり方が運営委員会の場だけではなくなるので、時間的に難しいかもしれない。メーリングリストなどを活用して、運営委員からの意見をいただく可能性はある。次回運営委員会ではこの方向性で議論したい。闊達な議論になるように、各委員は「活動計画にどう関わるか」を議論するためのご意見をまとめてきていただきたい。

4. そ　の　他

1．次回運営委員会日程について

日時：平成 27 年 3 月 17 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル 3 階　第 1、2 会議室